

今号のトピックス 1日研修コース報告 スマホの使いすぎで「ツノ？」

THInet 1日コース研修会 大成功

6月29日（土）THInet 研修1日コースが埼玉県浦和市さいたま共済会館で開催され、19名の参加者とともに熱心に学び、盛況で終えることができました。

今回の研修コースでは新たな試みとして各分野の構成を『モデル授業+解説・深化講習』にしたことです。モデル授業は啓発をする際の実際の流れを行い、解説・深化講習では、モデル授業を行う上での基礎・補足知識を補います。

また、カリキュラムの構成についても①脳②視聴覚③睡眠・運動器⑤ネット依存⑥学校での取り組みに絞り、今まで2日間で行っていた内容を1日でできるように再構成しました。

この間に並行して進めていたテキスト制作のおかげもあり、各分野の内容が一部改変され、最新の研究や基礎知識となる研究がよりわかりやすく、より深く盛り込まれました。今回は各分野とも時間が短くなったこともあり、ポイントを絞った内容がわかりやすさにつながったのだと感じます。

学校現場の状況を考えると2日間での開催が難しい場合もあります。今回のように柔軟にプログラムを変更し、1日また半日で開催できるような仕組みを整えていけば、研修会は実施しやすくなります。広がりを持てる研修会でした。

次は10月5日です。よりわかりやすい、学びの多い研修会になるように教材づくりに努めていきます。(本間)

研修コース 参加者からの感想

自由欄に記載されたものを紹介します。

- 5つの分野それぞれが詳しく、また科学的なスタンスに基づいたスライドが用意されており大変勉強になりました。実践例もあり大変勉強になりました。今後も勉強を続けていきたいと思います。
- 今までアウトメディア関連の研修会、講演会では「学力」「脳」のことについての話が多かったですが、今回の研修会では「視覚」「運動器」といった今までの研修会では出てこない話があり、今後の啓発活動に非常に役立つ話が聴けて大変良かったです。時間はかかりますが、町全体にアウトメディアを広めて行きたいと思います。
- 講演スライド資料集の冊子、とても良いと思いました。
- 教材・啓発資料をCDで手に入れられることが何よりの魅力だと思います。
- 物事にはプラス面、マイナス面が表裏一体だと思うので、マイナス面だけでなくプラス面にも触れた上でマイナス面について考えた方が、子どもたちの行動変容につながる指導法を探れるのではないかと思います。
- LINEが学習に影響があるということは、初めて知りました。

(成田弘子)

伊藤理恵のネットニュース

スマホの使いすぎで若者の頭蓋骨に「ツノ？」 (6/26(水) The Telegraph のニュースより)

オーストラリア サンシャインコースト大学の研究者が発表した調査結果。18歳～30歳の218人を調査。10人に4人の割合で上頭部のすぐ上に、最大で3センチの突起物ができていた。(鬼やユニコーンのようなものを想像してしまいましたが違うようです)

原因は 前かがみの姿勢。従来は年を取るにつれ前かがみになるためにおこるとされているが、若い世代ではスマホなどを見続けているためにおこるとみられる。

https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190626-00010000-clc_teleg-int

文面だけではわかりにくかったのですが、映像がありましたのでご参照ください。(音声は英語)

こちらは、ニュースウィーク日本版 6/21 配信。

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2019/06/post-12366.php>

スマホなどで同じ姿勢を続けていることは体の成長や運動機能に影響があるだけでなく、最近になって急性内斜視やツノなどといった様々な影響が報告され始めました。今後も何が起るのか心配ですが、そういったことにならないようなメディア機器との付き合い方を 年齢に関係なく早急に知って、実行して欲しいと思います。

そのためにも私たちの啓発活動は重要だと再認識しました。

(伊藤理恵・編集委員)